

今月のさがあお豆知識 No.45

お口の中の写真はどのように撮るの？

「歯磨きする時、奥歯や歯の裏側って見にくい！」と感じた事はないですか？奥歯や歯の裏側を目で見て知って頂けるよう、さがのあおい歯科ではカメラを使って歯や噛み合わせ、粘膜の撮影を行っています。

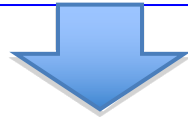
写真で何を見ているの？

1枚のお写真から分かる情報はたくさん！様々なことを読み取っています。



- ① 歯茎の色（赤み、メラニンの色素沈着）
 - ② 歯茎の形態（退縮、腫脹、肥厚）
 - ③ 歯茎の傷
 - ④ 歯の根の露出状態
 - ⑤ 歯の状態（歯垢、歯石、着色）
 - ⑥ 歯質の損傷（虫歯、すり減り、欠けていないか）
 - ⑦ 歯並びの状態
 - ⑧ 補綴装置（適合の状態、破損）
- 全身の写真＝噛み合わせ、姿勢の歪み

色々見ているのは分かるけど、口は渴くし痛い時もあるし…



何をやる為に使っているの？

* 口腔内写真は他の検査と同様、大切な資料です。

お口の中の状態を撮影・記録し、日々変わりゆく変化を把握しています。

* 言葉だけでなく、目で見て、お伝えできる。それだけでなく、汚れが減ったり、きれいに治ったところを見られる事で、モチベーションが上がるきっかけになっています！

* 先生と歯科衛生士で患者さんにとって最適な治療法の話し合いを行い、患者さん一人一人、写真を用いて治療についての相談を行っています。

患者さん自身にお口の中の状態を知っていただく為に行っている中で、「見えない所がどうなっているのか分かりやすい。」

「子供の口や顔の成長が見られて嬉しい。」

という嬉しい声を頂いています。

これからも、写真撮影では正確性・再現性・永続性この3つをモットーに、お写真を活用し、分かりやすい説明を心がけていきます！

